

関西大学国文学会

吉田永宏教授古稀記念特集



平成十九年三月
第九十一号

目次

献詞

吉田永宏教授略年譜……………	(一)
吉田永宏教授著述目録……………	(一七)
『貫之集』卷四の解釈……………	
—素寂本を手がかりに—	
北井佑実子(一七)	
角倉切後撰和歌集考……………	
立石大樹(三七)	
『和泉式部日記』は一人称作品……………	
藤川晶子(五)	
「春別」と「春の別れ」……………	
—伊勢物語第七十七段の問題点—	
山本登朗(五)	
類聚歌苑の古写断簡……………	
田中登(七)	
餓鬼草紙攷……………	
—曹源寺本第三、四段について—	
黒田彰(八)	
化人の語る仏道教化……………	
—『宝物集』の構想—	
大島薫(一五)	

『蒲生文武記』……………	鶴崎裕雄(二三)
—軍記と和歌の接合—	瀬戸祐規
鎮宅靈符神信仰研究史の整理……………	山極哲平(二四)
『阿婆縛抄』研究史稿……………	岡田健太(二五)
酒の町池田の輝き……………	藤田真一(二七)
—『俳諧呉服絹』の文雅—	
玄化堂甫尺(書肆吉田九郎右衛門)の俳諧活動……………	竹内千代子(二七)
都の錦作片仮名本『内侍所』筆蹟考……………	山本卓(三〇)
宮沢賢治の初恋と短歌……………	池川敬司(三三)
—不可解な歌をめぐって—	
明治期の大阪の雑誌……………	荒井真理亜(三五)
—「 ^{大阪} 文芸」細目—	
宇野浩二童話「王様の嘆き」にみる	
ハインリッヒ・ハイネ「ロマンツェロ」受容……………	増田周子(三四)
谷崎潤一郎「痴人の愛」論……………	中谷元宣(三五)
—〈お伽噺の家〉の意味をめぐって—	

山内謙吾資料（関西大学総合図書館所蔵）について……………浦西和彦（二六九）

—黒島伝治未発表はがき二通の紹介—

佐多稲子の五〇年問題……………北川秋雄（二八三）

—「みどりの並木道」のことなど—

三島由紀夫「金閣寺」研究……………井迫洋一郎（三〇一）

「婉という女」の参考資料……………堀部功夫（三七）

『沈黙』論……………田中葵（三九五）

—草稿の発見を踏まえて—

玄月の『蔭の棲みか』論……………黄奉模（三五）

近代大阪の演能場……………関屋俊彦（三七五）

助詞「は」の「わ」表記……………遠藤邦基（三五五）

—いろは歌の影響を通して—

日本大学図書館蔵『土左日記』の表記……………狩野理津子（四五）

—ハ行転呼音に関して—

徳川美術館蔵『基俊集』『登蓮集』の表記……………林田定男（四五）

—定家真筆説への疑問—

関西大学工学部「文章論入門」（2006年度春学期）指導の実践報告……………小伏志穂（四九）

国文学

第九十一号

平成十九年三月一日発行

(〒564-8600) 大阪府吹田市山手町三-三-三五

関西大学国文学会

E-mail: kokubun@cmkansai-u.ac.jp

電話(直通)〇六-六三六八-〇三二一

郵便振替〇〇九四〇-六一二五八四四

(〒590-0004) 大阪府北区東夙満一丁目二-二三

交友印刷(株) 大阪営業所

電話〇六-六二四二-八八七五

E-mail: osaka@koyu-p.co.jp